

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	県央地域農業改良普及センター		
60				
※記入不要				
要望問題 直売所間の荷の移動に対する効果検証				
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】				
<p>県央地域には共同の直売所約60カ所あり、地場産の農産物の購入先として定着しているが、多くの直売所が品揃えや量の確保には苦勞しており、その1つの解決策として直売所間の連携が有効と考えられる。</p> <p>実施にあたっては、荷の移動に関するコスト、直売組合員の意識、直売者利用者の意識などを検証していく必要がある。</p>				
解決希望年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
研究対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①研究所対応	②委託研究	③共同研究	④その他
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業総合研究所（ <input type="checkbox"/> ②根府川試験場 <input type="checkbox"/> ③三浦試験場 <input type="checkbox"/> ④津久井試験場） <input type="checkbox"/> ⑤畜産研究所 <input type="checkbox"/> ⑥水産総合研究所（ <input type="checkbox"/> ⑦内水面試験場 <input type="checkbox"/> ⑧相模湾試験場） <input type="checkbox"/> ⑨自然環境保全センター			

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所			
部 署	経営情報部			
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施	<input checked="" type="checkbox"/> ②実施中	<input type="checkbox"/> ③継続検討	<input type="checkbox"/> ④実施済
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 直売を活用した県内農産物の連携販売システムの検討			
対応の内容等	<p>平成15年度の新規研究課題として、上記課題を立ち上げ研究に着手している。平成15年度は、直売所における会員外仕入れ品の実態調査を行い、外部仕入れ品の導入理由等を明らかにするとともに、併せて直売所間のネットワークの事例調査を予定している。平成16年度以降については、実態調査及び事例調査の結果をふまえ、流通コスト、直売組合員の意識、直売所を利用する顧客の意識等についての調査を検討している。</p>			
解決予定年限	①1年以内	<input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内	③4～5年以内	④5～10年以内
備考				